

よくあるお悩み Q & A

保護者のみなさんからよくいただく悩みや疑問にお答えします。

誰に相談したら
よいのか
わかりません

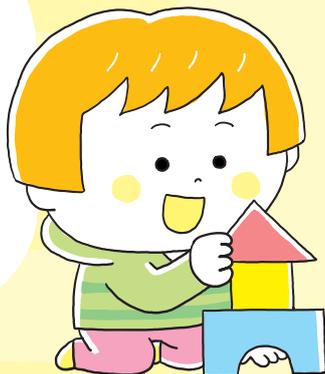
A ご家族だけで抱え込まず、例えば、お住まいの地域にある相談機関や、お子さんをよく知る園や学校の先生などに、まずは気軽に相談してみてください。

薬を飲まなければ
いけませんか？

A 必ず薬が必要になるわけではありません。まずは、かかりつけの病院の医師に相談してみてください。

周りの子と
比べてしまい、
不安になります

A 子供は、障害の有無を問わず性格、得意なこと、苦手なことなど、一人ひとり違います。子供の強みになる部分を意識的に見てあげることが大切です。



特性のあるうちの子が、
友達とうまく関われるか
心配です

A はじめは身近な大人（ご家族、園や学校の先生など）がお子さんの代弁者となり、仲介する中で友達との関わり方を練習できるとよいと思います。



支援を受けるために、 検査や診断書は 必ず必要ですか？

A 必ずしも必要というわけではありません。例えば学校での支援は、日常のようすや困りごとをもとに、学校と話し合いながら進めることができます。一方で、検査結果や診断書があることで、お子さんの特性を客観的に共有しやすくなり、支援方法を具体的に検討しやすくなる場合もあります。状況に応じて、必要な情報を活用しながら支援につなげていくことが大切です。

子供の かんしゃくが ひどいです

A まず安全だけ確保して、怒らず静かにそばにいきましょう。落ち着いた後に「つらかったね」と気持ちを言葉にしてあげてください。

周りから理解が 得られそうになく、 子供に診断名がついたことを 伝えたくありません

A 無理に診断名を伝える必要はなく、まずは「この子は〇〇が苦手で、こうしてもらえると助かります」という特徴や具体的な関わり方だけを共有することをおすすめします。保護者自身が安心できる範囲で、伝える内容や相手、そして伝えるタイミングを選ぶとよいと思います。

学校では、 どのような配慮や 支援を受けることが できますか？

A お子さんの特性に応じて、学習や学校生活の中で環境調整や合理的配慮を受けることができます。検査結果や日常のようすを共有しながら、学校と連携して支援を進めていくことが大切です。